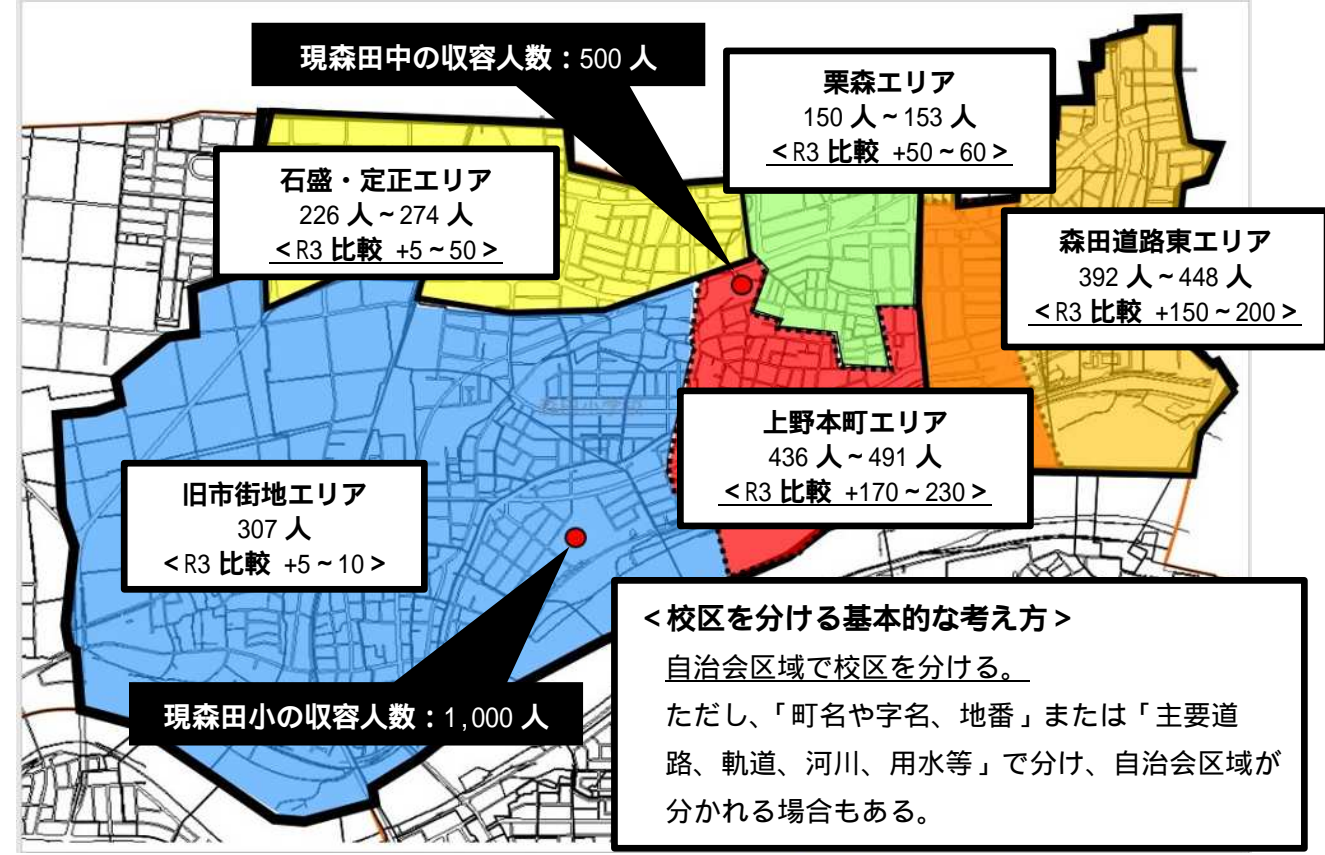
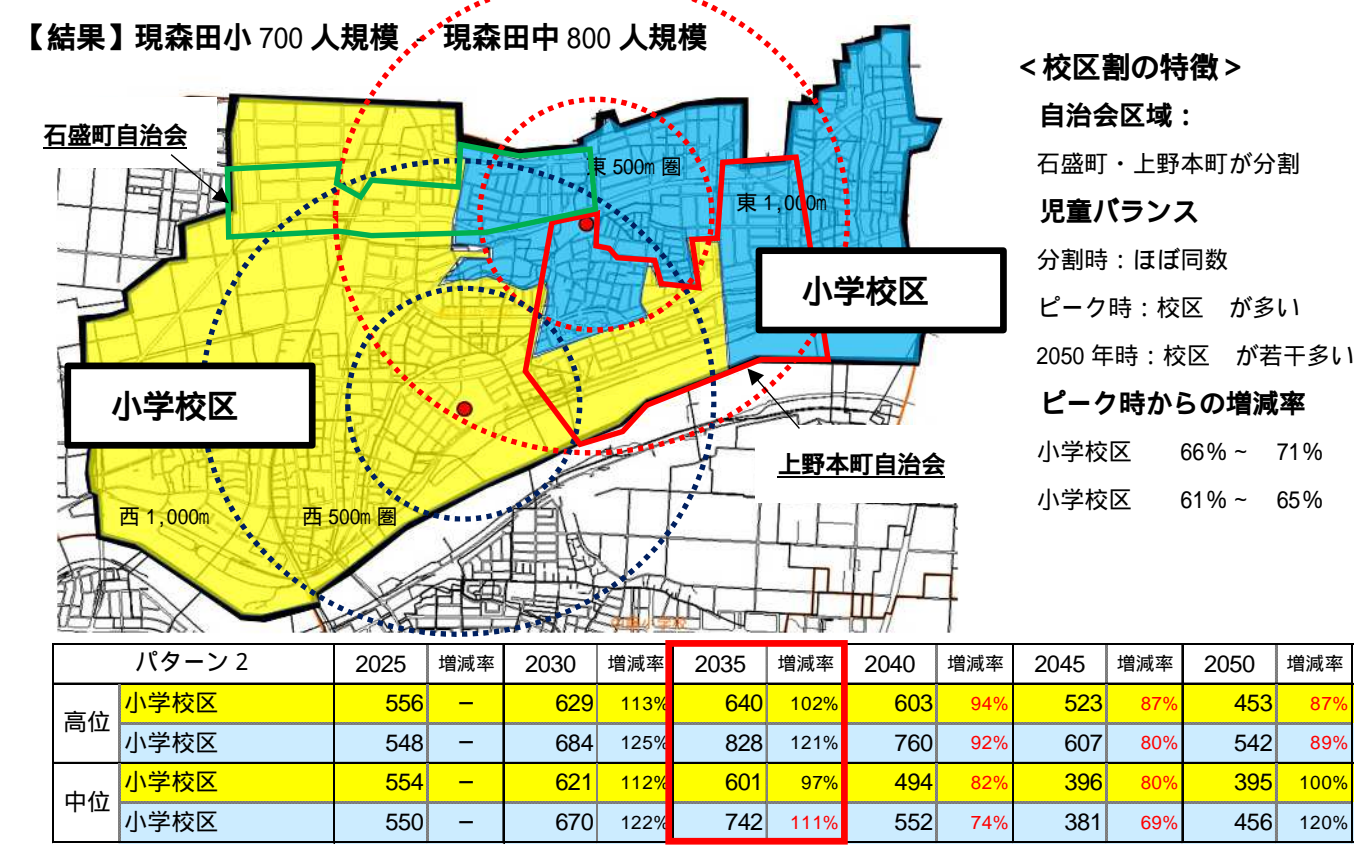


1. 森田小学校 2校化の校区の区分について

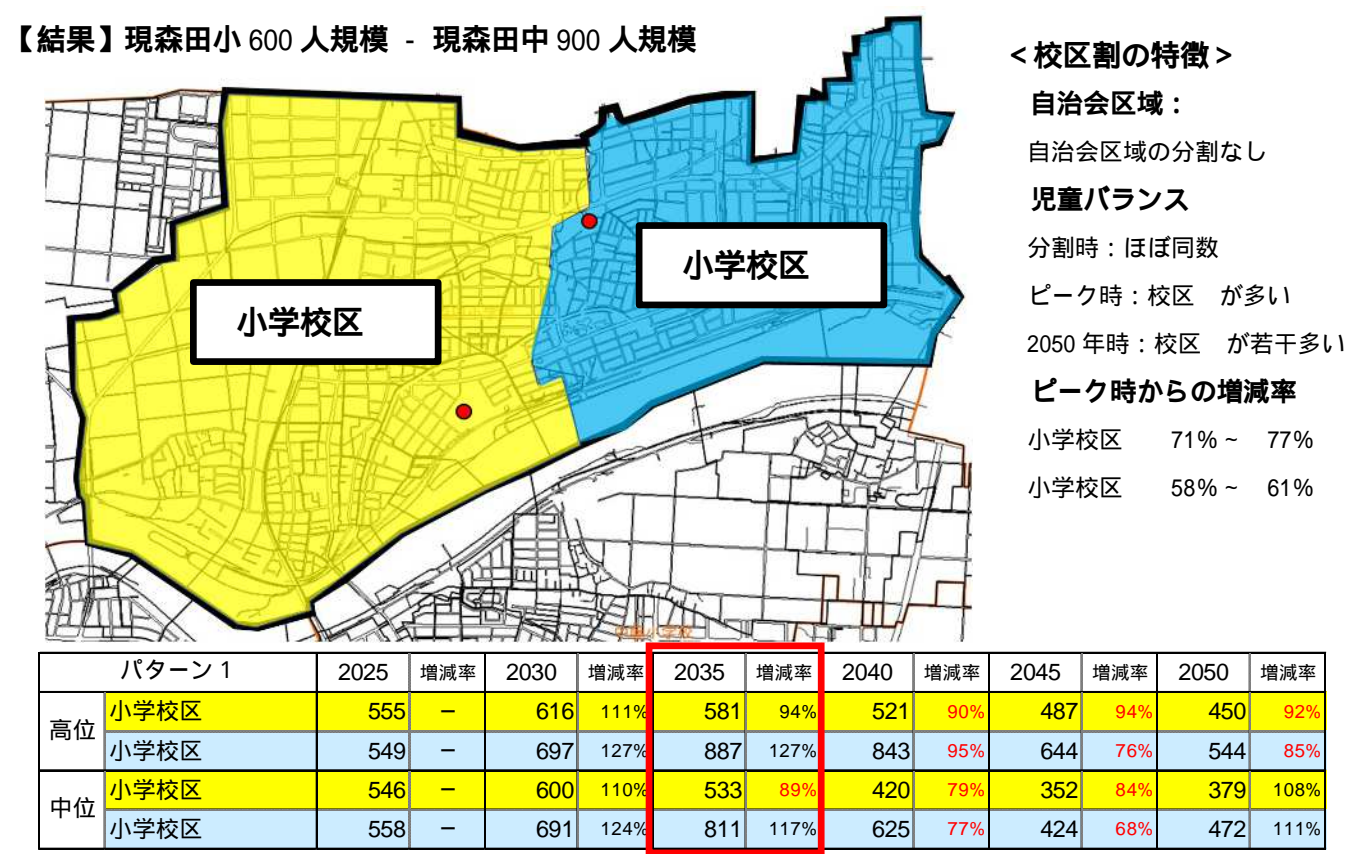
前提：ピーク時（1,371～1,468人）における児童数の配置予測



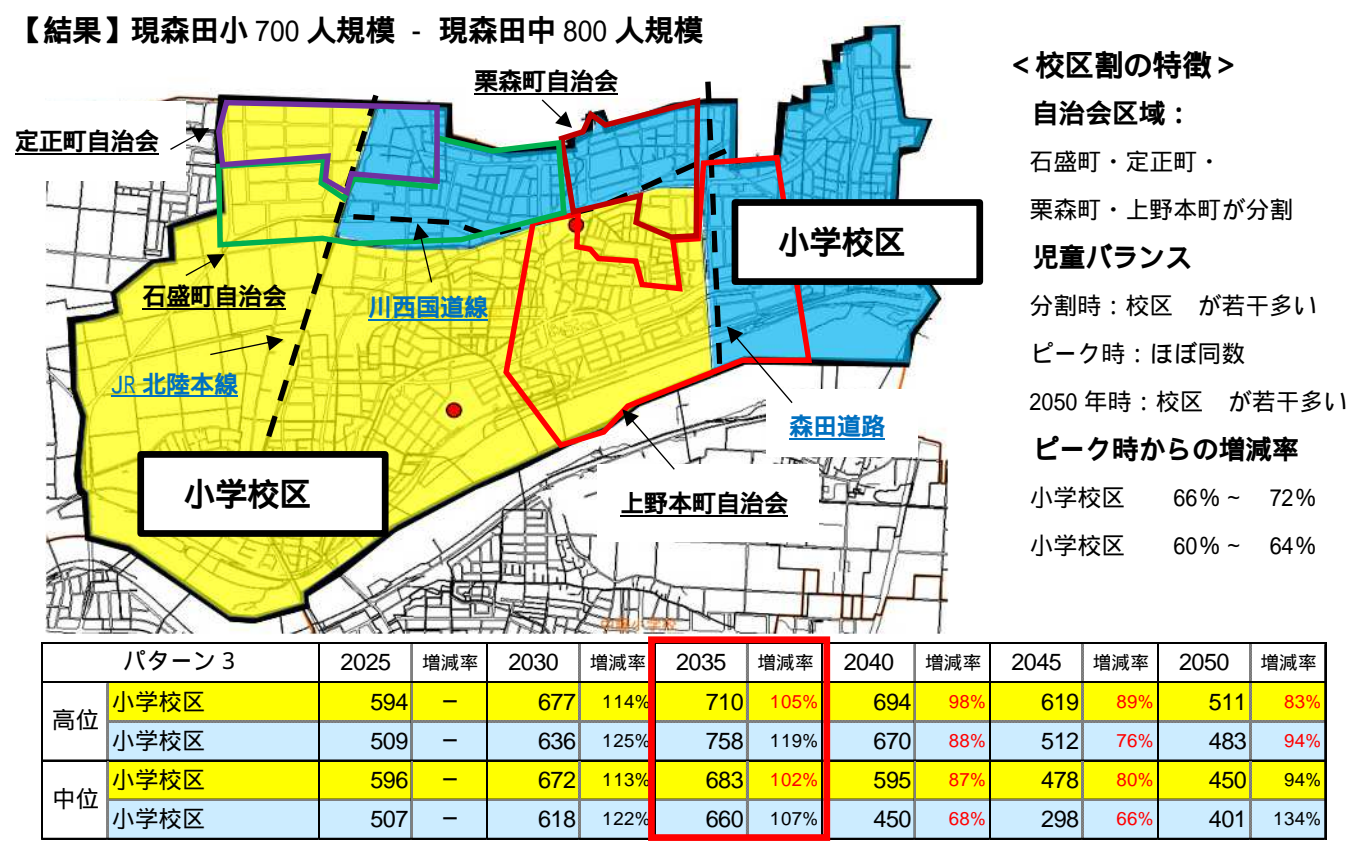
パターン2：通学距離で分割した場合



パターン1：地区を均等にした場合

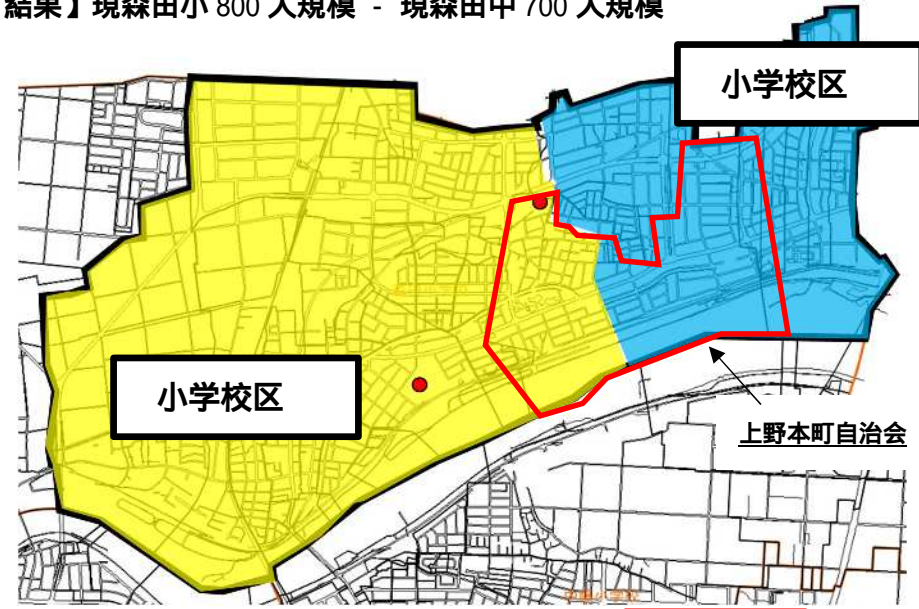


パターン3：主要道路等で分割した場合



パターン4：将来の児童数が半数になるようにした場合（現中学校が校区 外に立地）

【結果】現森田小 800 人規模 - 現森田中 700 人規模

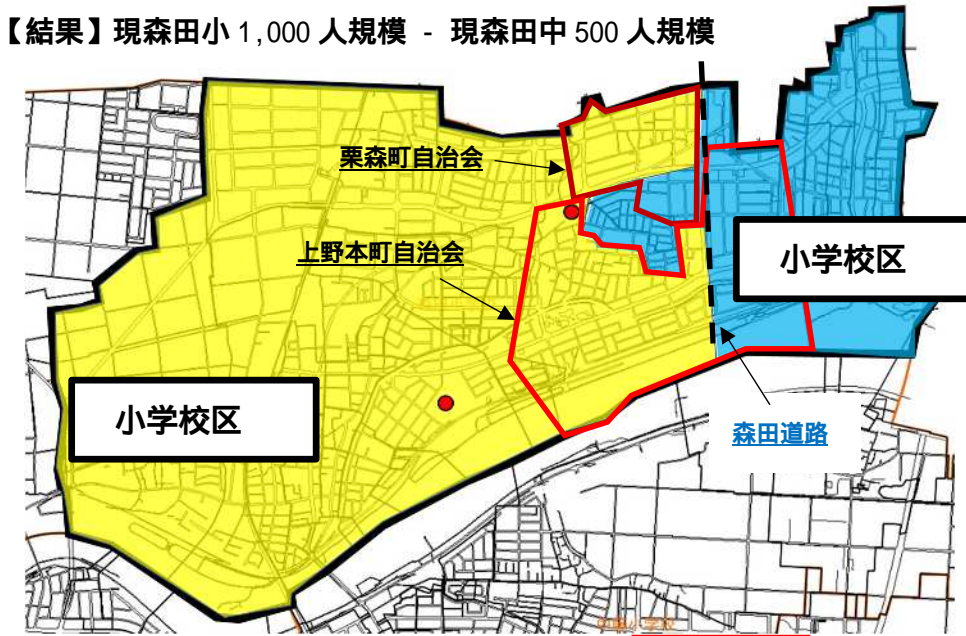


< 校区割の特徴 >
 自治会区域：
 上野本町が分割
 児童バランス
 分割時：校区 が多い
 ピーク時：ほぼ同数
 2050 年時：校区 が多い
 ピーク時からの増減率
 小学校区 77% ~ 82%
 小学校区 49% ~ 53%

パターン4		2025	増減率	2030	増減率	2035	増減率	2040	増減率	2045	増減率	2050	増減率
高位	小学校区	714	-	782	110%	757	97%	694	92%	650	94%	613	94%
	小学校区	390	-	530	136%	711	134%	669	94%	480	72%	381	79%
中位	小学校区	706	-	765	108%	704	92%	582	83%	505	87%	538	107%
	小学校区	398	-	525	132%	640	122%	463	72%	271	59%	313	115%

パターン6：現在の施設規模に合わせた場合（北陸新幹線森田道路を目安に分割）

【結果】現森田小 1,000 人規模 - 現森田中 500 人規模

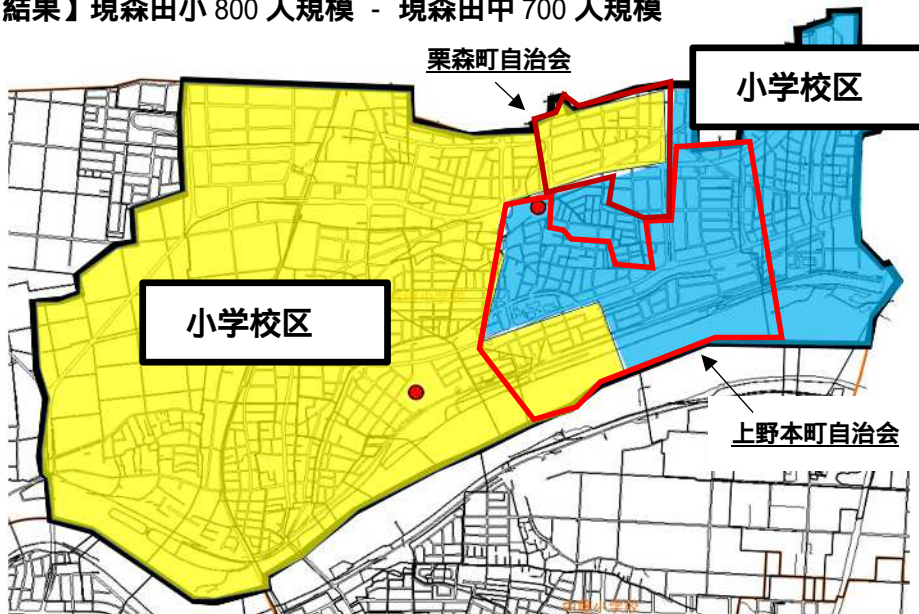


< 校区割の特徴 >
 自治会区域：
 栗森町・上野本町が分割
 児童バランス
 分割時：校区 が多い
 ピーク時：校区 が多い
 2050 年時：校区 が多い
 ピーク時からの増減率
 小学校区 73% ~ 77%
 小学校区 46% ~ 51%

パターン6		2025	増減率	2030	増減率	2035	増減率	2040	増減率	2045	増減率	2050	増減率
高位	小学校区	809	-	914	113%	935	102%	863	92%	771	89%	720	93%
	小学校区	295	-	399	135%	533	134%	500	94%	359	72%	275	76%
中位	小学校区	803	-	894	111%	867	97%	708	82%	584	82%	630	108%
	小学校区	301	-	396	132%	476	120%	337	71%	193	57%	221	115%

パターン5：将来の児童数が半数になるようにした場合（現中学校が校区 内に立地）

【結果】現森田小 800 人規模 - 現森田中 700 人規模

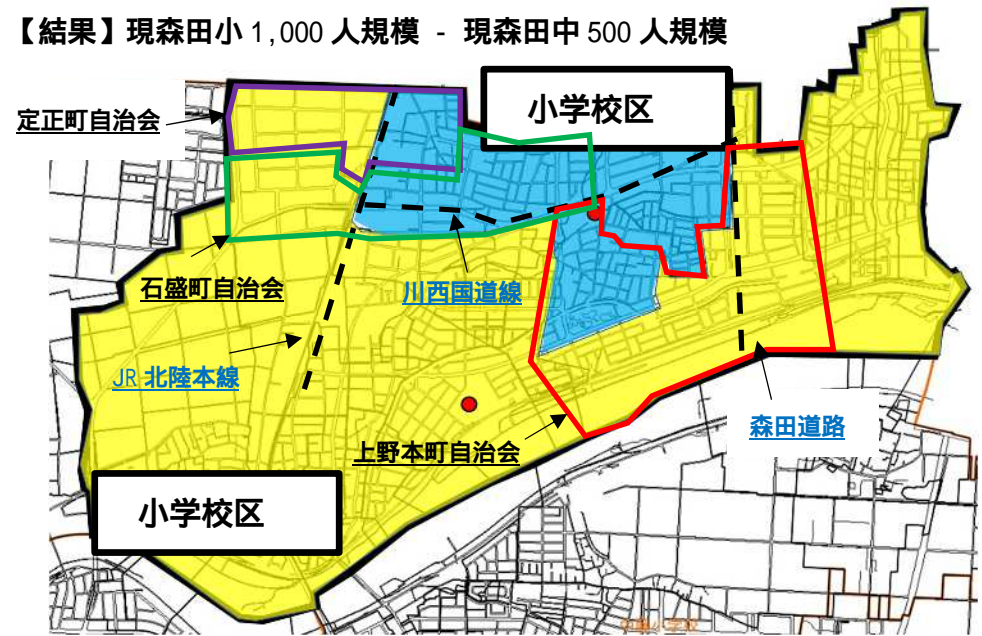


< 校区割の特徴 >
 自治会区域：
 栗森町・上野本町が分割
 児童バランス
 分割時：校区 が多い
 ピーク時：ほぼ同数
 2050 年時：校区 が多い
 ピーク時からの増減率
 小学校区 71% ~ 77%
 小学校区 55% ~ 59%

パターン5		2025	増減率	2030	増減率	2035	増減率	2040	増減率	2045	増減率	2050	増減率
高位	小学校区	671	-	754	112%	746	99%	682	91%	620	91%	571	92%
	小学校区	433	-	559	129%	722	129%	681	94%	510	75%	424	83%
中位	小学校区	663	-	737	111%	693	94%	561	81%	463	83%	491	106%
	小学校区	441	-	553	125%	650	118%	485	75%	314	65%	360	115%

パターン7：現在の施設規模に合わせた場合（川西国道線を目安に分割）

【結果】現森田小 1,000 人規模 - 現森田中 500 人規模



< 校区割の特徴 >
 自治会区域：
 石盛町・定正町・
 上野本町が分割
 児童バランス
 分割時：校区 が多い
 ピーク時：校区 が多い
 2050 年時：校区 が多い
 ピーク時からの増減率
 小学校区 56% ~ 61%
 小学校区 79% ~ 81%

パターン7		2025	増減率	2030	増減率	2035	増減率	2040	増減率	2045	増減率	2050	増減率
高位	小学校区	715	-	872	122%	998	114%	923	92%	741	80%	614	83%
	小学校区	389	-	440	113%	470	107%	441	94%	390	88%	380	98%
中位	小学校区	721	-	863	120%	919	107%	697	76%	488	70%	515	106%
	小学校区	383	-	428	112%	424	99%	348	82%	289	83%	336	116%

2. 新中学校の移転新築について



1 建設候補地について

(1) 建設に必要な敷地規模 延床面積約9,000㎡で3階建ての場合

場所	面積	河合地区の生徒も見込み、 生徒数800人とした場合。
校舎(建築面積)	約3,000㎡	
体育館(建築面積)	約2,500㎡	
グラウンド	約15,000㎡	
その他(駐車場ほか)	約5,000㎡	合計25,500㎡以上

(2) 建設候補地に求められる要件

- 学びの環境(騒音等を考慮など)
- 周辺への影響(市街地や農地の連続性など)
- 安全・安心な通学路の確保(主要な通学路との関係など)

2 建設スケジュールについて

(1) 業務工程上必要となる期間

業務名	期間
基本・実施設計	約2年間
用地の造成	約2年間
新築工事	約2年間

(2) 想定される最短スケジュール

R3	R4	R5	R6	R7	R8
計画策定	基本・実施設計		新築工事		開校
用地交渉	用地造成				

3 通学路について (JR線路の横断箇所)

	: 川西国道線								
現場写真									
道幅	○(対面可)	(1台分)	(歩道あり)	(1台分)	○(対面可)	○(対面可、一部歩道))	(1台分)	(1台分)	(1台分)